



「開催まであと2日」とPRする実行委員ら



テーマは「澆刺」 個性満載の企画

松本秀峰・秀峰祭

松本秀峰中等教育学校(松本市埋橋2)は22、23日、文化祭「秀峰祭」を一般公開する。9回目の今年のテーマは「澆刺(はつらつ)」。クラスや学年、部活動のほかに、仲間と自由に参加するグループもあり、35に上る「個性の強い企画」が満載だ。

同校の「代名詞」というオーケストラ部をはじめ、飛行機に関する展示やロボットコンテスト、映画製作、お化け屋敷、折り紙、シューティングゲーム、寄席など「クオリティが高い」(渡邊創太実行委員長)の5年)発表や展示がそろう。

実行委員を中心に助け合い、生徒がやりたいことを実現する。準備段階から学年ごとと色違いのTシャツを着て当日に臨み、今年は初めてオリジナルタオルも作った。「気持ち上がる」と荒井美穂企画運営部長(4年)。

渡邊実行委員長は「一人一人が成功を目指し、元氣澆刺で疾走したい！」と気合を入れる。

一般公開は22日午前11時～午後3時半、23日午前9時～午後3時。1年生がアンバサダーを務め、来校者を案内する。同校 ☎ 31・8311